


「阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」
第3回助成・事業実施報告書

1. 基本事項

団 体 名	つむぎ		
事 業 名 称	子ども・子育て支援事業	助成額	50万円
申請事業の概要	発達障がいや知的障がいのある子どもを育てる方、子育ての悩みのある方、支援者等が集まり、交流の場の提供と交流の促進・講習等の実施・地域の子育て関連情報の提供・子育て等に関する相談・援助を実施する事業		
申請事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに悩んでいる方が孤立するのを防ぎ、当事者同士、支援者と繋がりを持つことで、子どもの特性を受け入れたり、前向きな気持ちで子育て出来るよう、発達障がい・知的障がいに関わる専門家及び関係機関の協力を得て支援します。 ・ 地域に密着した情報を提供し、城東区社会福祉協議会・城東区障がい者基幹相談支援センター・地域福祉支援員と繋がりを持つことで、子どもや保護者が地域で安心して暮らしていけるよう支援します。 ・ 園や学校・障害児福祉事業所とも連携し、手助けが必要な保護者や子どもを支援し孤立を防ぎます。 ・ 会に参加できない方も、YouTube 配信などを見ることで、必要な情報を入手し、同じような困りごとを抱えている保護者がいると知ってもらい、子育ての孤立を防ぎます。 <p>これらのことを目的とし、事業を行っています。</p>		
関連するSDGs 目標			

2. 助成事業の実績・成果等について

<p>・事業実績</p> <p>2024年1月 つむぎ定例会 就学・進級に向けての勉強会・意見交換会</p> <p>2024年2月 つむぎ定例会 性教育講師を招いての性教育の勉強会・支援グッズ製作・意見交換会</p> <p>2024年3月 つむぎ定例会 不登校支援についての勉強会・意見交換会</p> <p>2024年4月 つむぎ定例会 福祉サービスが使える遊び場についての勉強会・意見交換会</p> <p>2024年5月 つむぎ定例会 中学卒業後の進路についての勉強会・意見交換会</p> <p>2024年6月 つむぎセミナー 「大切にしたい！ココロとカラダのトリセツ2」開催</p> <p>2024年7月 つむぎ定例会 専門職の先生に何でも質問してみよう！大質問大会・意見交換会</p> <p>2024年8月 夏休み特別企画 親子で楽しく！パーソナルスペースについて学ぼう ワークショップ</p> <p>2024年9月 つむぎ定例会 発達障がい児にオススメの便利な文房具の勉強会・意見交換会</p> <p>2024年10月 つむぎ定例会 大阪市の自校通級制度についての勉強会・意見交換会</p> <p>2024年11月 つむぎ定例会 知っておきたい防災の知識についての勉強会・意見交換会</p> <p>2024年12月 つむぎ定例会 避難所で受けられる合理的配慮についての勉強会・意見交換会</p>	
---	--

- ・別途個別相談実施
- ・別途 YouTube 配信実施

・事業の成果

- ① 今年度 SNS を使った情報配信を開始した結果、つむぎに来ることのできない遠方の方にも必要な情報を届けることが出来るようになりました。
- ② 6 月に実施した性教育講座では、講座の趣旨や内容が読売新聞にも取り上げられたことで、多くの方々にご関心をいただきました。その結果地域の参加者に加え、遠方からもお越しいただき、当日は 100 名を超える参加者で会場が満席となりました。講座終了後のアンケートでは、多くの参加者から「とても分かりやすかった」「もっとこうした機会を増やしてほしい」といった声をいただき、性教育に対する関心の高さを改めて実感しました。反響の大きさは、地域でのこうした取り組みの必要性を再確認させるとともに、次回開催に向けて大きな励みとなりました。
- ③ 8 月に実施したワークショップでは、親子でパーソナルスペースについて学びながら、待ち時間には工作を楽しむなど、夏休みらしい雰囲気を取り入れた内容を提供しました。参加した親子からは、「家庭でも今回学んだことを活用していきたい」といった声をいただきました。子どもたちがリラックスした雰囲気に参加でき、学びと楽しさの両面を実現できた点が大きな成果と言えます。
- ④ 11 月 12 月に開催した防災学習では地域と連携を進め、避難所の備蓄品として子どもや成人用のオムツを新たに配備していただけることになりました。
- ⑤ その他毎月の勉強会・意見交換会では、今年度も多くの方が参加し、悩みを共有できる場として機能しています。参加者同士が話し合うことで、共感が生まれ、気持ちが軽くなることを目指したこの取り組みは、孤立感を和らげ、精神的な支えや安心感をもたらす重要な成果です。

3. 課題分析や今後の発展性

つむぎは地域の保護者や支援者からのニーズを基に活動を行っており、これまでの実績からも継続的な必要性が認識されています。今後は、対面イベントの開催を続けるとともに、オンラインを活用した情報提供や交流機会を拡充し、遠方の方への支援を強化していきます。また、地域住民や支援者が、障がい児育児の理解を深められるよう、パネル展や教材の展示を通じて発達障がいや子育て支援に関する啓発活動を行ってまいります。

4. 代表者又は担当者からのひとこと

毎月の定例会、講演会やワークショップを開催することで、子育てに困っている方が、「私、困っています！」とヘルプを出すことの出来る場であること、そして然るべき支援と繋がることのできるようサポートするという役割はもちろんですが、子どもの成長やステップアップを共に喜べる場所でもありたいと思っています。

今年度はつむぎの活動がひとまわり大きくなった 1 年でした。

これからは自治体や地域団体との連携を深め、子育てを支える環境の整備を進め、地域全体で子育て支援の輪を広げていきます。